

《担当者名》藏満保宏

【概要】

病気とはいったい何か、病気がどうやって成り立っているのか、さらには病気の中でも腫瘍とは何であるかを理解するために、1)健康と病気の違いを学ぶ。2)細胞・組織を障害する様々な刺激因子と、刺激因子が細胞・組織を障害するメカニズムを学ぶ。3)循環障害、炎症、免疫異常、感染、代謝障害に関する医学用語(梗塞、炎症、アレルギーなど)を学ぶ。4)循環障害、炎症、免疫異常、感染、代謝障害という側面から、病気の成り立ちを学ぶ。5)腫瘍とはいったい何であるか、腫瘍が発生するメカニズム、。良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを学ぶ。

【学修目標】

- 1) 臨床検査技師に必要な病理学の知識と技術を習得するために、病理学全般(総論、各論)を理解する。
- 2) 細胞の構造と傷害および恒常性の維持と異常を説明できる。
- 3) 先天異常と老化について説明できる。
- 4) 循環障害を説明できる。
- 5) 代謝異常を説明できる。
- 6) 感染症と免疫について説明できる。
- 7) 炎症について説明できる。
- 8) 腫瘍について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	序論	・病理学とは? 病理診断、剖検	藏満保宏
2	細胞の構造と細胞傷害	・細胞の構造と細胞傷害について 中毒性障害、感染性障害、物理的障害、欠乏性障害	藏満保宏
3	恒常性の維持と異常	・恒常性の維持と異常について 萎縮、肥大、過形成、変性、化生、壊死、アポトーシス、再生、創傷治癒	藏満保宏
4	先天異常	・先天異常の原因と機構について 病因、奇形、環境的要因、染色体異常、単一遺伝子異常	藏満保宏
5	循環障害	・循環障害の総論 虚血、充血、うっ血、側副循環、出血	藏満保宏
6	循環障害	・循環障害の各論 血栓症、塞栓症、梗塞、ショック、浮腫	藏満保宏
7	代謝異常	・代謝異常について 糖尿病、高脂血症、動脈硬化、脂肪肝、痛風、アミロイドーシス	藏満保宏
8	老化	・老化の機構と疾患について 細胞の老化、早期老化症候群	藏満保宏
9	感染症	・感染症の総論と各論 感染症総論、感染症各論	藏満保宏
10	免疫と免疫異常	・免疫の機構と疾患について 免疫応答、自己免疫疾患、免疫不全症候群、アレルギー	藏満保宏
11	炎症	・炎症の総論について 炎症の定義、炎症に關与する細胞と組織、炎症の形態学的変化	藏満保宏
12	炎症	・炎症の分類と各論 炎症の分類(変質性炎、滲出性炎、増殖性炎)	藏満保宏
13	腫瘍	・腫瘍とは? 腫瘍の定義、腫瘍の形態	藏満保宏

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	腫瘍	・腫瘍の構造と悪性化進展 腫瘍の増殖様式と進展様式、再発、浸潤、転移	藏満保宏
15	腫瘍	・腫瘍の疫学について 腫瘍の疫学、分類	藏満保宏

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 70% 小テスト 30%

【教科書】

小林正伸 「なるほどなっとく！病理学 Plus」南山堂 2021年

【参考書】

小林正伸 「やさしい腫瘍学」南江堂 2014年

【備考】

クリッカーを使用した双方向型授業を行う。

【学修の準備】

- ・教科書『なるほどなっとく！病理学』を事前に読んでおくこと。（80分）
- ・毎回の授業の最後で紹介する国試問題をその日のうちに完全に理解すること。（80分）
- ・わからないことがあったらE-mailで藏満に質問する
- ・配布されるプリントを理解できれば、必ずしも教科書、参考書を必要とはしないものの、あった方がより理解が深まると思われる。

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、病態における病理学に関する基本的知識を講義する。